

里山ボランティア通信

2019年 7月号



ヤブカンゾウ

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

7月6日（土）曇り：通常活動

里桑の実取り、梅取り、片付け



7月13日（土）晴れ：通常活動

片づけ、薪割、野菜の手入れ



7月20日（土）曇り：通常活動

材木運搬、発電機からの配線、ログハウス作り



7月27日（土）晴れ：森の楽校

ヨモギの草木染め



これからの活動予定

■これからの主な活動

| | |
|----------|-------------|
| 8月3日（土） | ボランティア活動 |
| 8月10日（土） | ボランティア活動 |
| 8月17日（土） | ボランティア活動 |
| 8月24日（土） | 森の楽校（会員・一般） |
| 8月31日（土） | ボランティア活動 |

梅雨明けが待ち遠しい日々でした。久しぶりの青空！長い雨の中でも、初夏から夏へ、里山の季節は確実に移ろっています。木陰には、ヤマユリやヤブカンゾウ、オカトラノオ、湿地にはメタカラコウ、鮮やかな夏の始まりです。